

●主な活動の記録 (10月～12月)

10月3日(土) 環境体験講座 奈良阪

奈良市地球温暖化対策地域協議会との共催で”里山の森林整備と森の恵みを楽しむ会”を一般参加者公募によるイベントを開催。11組の親子づれ28名が参集。当クラブ員8名の他事務局の奈良市職員、並びに協議会メンバー多数が指導に当たった。

イベントの趣旨説明後、竹林整備作業体験に入るに際し、森林保全活動の意義と竹の特長、作業要領、注意事項を説明し、各家族単位で竹林に入り、それぞれに指導者がついて竹の伐採作業。切った竹の一部は、午後のクラフト用に2m位の運び出した。

この作業の間、スタッフにより予め下ごしらえをしたバームクーヘンづくりの一通りを順に体験。再度森に入りクリ拾い。ハチ・ヘビ・クリのいかに注意しながら集めて持っており、早速大鍋に入れゆでる。昼食時には、バームクーヘンやクリを味わったり、森の役割についての紙芝居、竹のお話を聞き、クラフト体験に移る。

花器・竹トンボ・水鉄砲・食器等思い思いに作成。この間、予め作っておいた竹馬や竹のコップリを試し乗り。

盛沢山の内容であったが、スタッフ並びに参加者の協力のお陰で、予定の時刻に解散。

10月10日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

参加者23名が「緑の募金」公募事業”頂上展望台の眺望・景観を回復し、荒廃した里山林を再生事業とみんなの森植栽地の草刈り整備作業の二手に分かれて実施。

みんなの森では、本年豊作となった柿の第一回取り入れを行った。頂上展望台付近では、第一次選木の除伐処理を終えた後の追加選木分を順次伐倒していった。

作業終了後の定時理事会では、

- ・損保ジャパン有志の基金よりの助成による新規購入備品として、ユニホーム(ベスト)、のぼり、仮払い器等の検討
- ・緑の募金助成での購入機器の検討
- ・11月14日定例での草木染め要領等

10月24日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

天気快晴、16名が活動。

午前中は、FV連の国土緑化推進機構「緑の募金助成事業」で矢田山自然公園内の国道308号線沿道で”竹林整備と環境保全”活動と次回定例で行う草木染めの準備を行った。雑木が沿道に覆いかぶさるように枝を伸ばし、薄暗かった国道がチェーンソー、高枝ばさみ等を用いて雑木や竹を整備することでだいぶ明るくなってきた。

午後には、野鳥の森の草刈りと椎茸銀行の整理を行い、14時30分無事活動を終えることが出来た。

10月24日(土) かしはらエコフェスタ 2015 櫃原文化会館前広場

櫃原市地球温暖化対策地域協議会主催で開催され、各種の環境関連ボランティア団体の展示や体験コーナーに加え、これに協賛参加されている中部農林振興事務所よりの要請で、クラフト指導をクラブ員4名で実施。ほぼ途切れることなく訪れる子供達に、各サイズの竹の輪切りと木の実や殻を組合せての作品づくりと竹笛づくりの指導を行った。一日で二百数名が訪れた。

10月28日(水) 環境出前講座 東市小放課後子ども教室

放課後学習で、森林環境教育とクラフトを児童24名、先生3名に当クラブのスタッフ5名が指導にあたった。まず森林環境教育として森林の役割につき考え、手を上げさせて発表。約10分ほどでほぼ出そろったので、4グループに分け、それぞれにクラブ員がついて指導。最初に竹笛用の材料を組み合わせ音の出る位置を探らせて、グルーガンで固定し完成。早速あちらこちらで音色の異なる音を吹き鳴らしていた。次いで、サイズの異なる竹の輪切りや木の実を組合せ、小動物や小鳥等思い思いの作品を最低一人一つを作らせた。非常に限られた時間内ではあったが、かなりの出来栄え。これも各グループ2名ずつの奈良教育大学よりの教育実習生が補助してくれたお陰。

11月11日(水) 下草刈り 日笠町

7名が参加し、”潤いの森”植栽地での草刈り。本年は夏場の作業が出来なかったため、雑草は勢いよく繁っていたが、茶畑跡地・雑木林跡地両方予定通り刈り上げた。近くでクラフトで使用のための篠竹を切り取り持ち帰った。

11月14日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

一般参加者の家族連れ3組を迎えて草木染め。女性のクラブ員が木綿のスカーフ大の布を、ビワの葉・クリのいが・コブナグサを使って染め上げ指導。いずれも工夫を凝らした模様で染め上げ、皆満足顔。男性は、当初予定していた頂上展望台付近での除伐、前夜の雨のため安全を考え中止し、矢田山各所に蔓延しているナラ枯れを管理人が除伐されたものを、ホダ木に利用するため適度な太さのもの1m弱に小口切りし持ち帰り、来春の植菌まで炭窯前に棚済みした。

午後は、植栽地の整備を兼ねて前回取り残しの柿の収穫や、椎茸銀行の整理を実施。

定例理事会では、「緑の募金」助成事業のための購入機器の選定、ナラ枯れ材の利用方法、来月開催の総会、忘年会等につき打合せ。

11月28日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

17名の参加。FV連「緑の募金」公募事業、”竹林整備と環境保全”として国道R308沿い追分から榊野工務店間の人工林内での竹の除伐と枯損木の処理を実施。

12月5日(土) 受託事業 下草刈り 木の子村

天理木の子村より、植栽地での下草刈りの協力要請を受け、5名で実施。この日は寒くかつ大和高原での吹き曝し、又前年は実施されなかったとのことで雑草が激しく繁茂している傾斜地。最初全面刈りを目指したが、午前中に三分の一程しか出来なかったため、午後は上に向かって3条の筋刈りに切り替え何とか恰好が合った。

12月12日(土) 定例活動 総会 矢田山遊びの森

参加者21名。午後からの総会開催を控え、作業は午前中となり、大半は植栽地の整備。7名が「緑の募金」公募事業として毎月一回継続して実施している頂上展望台の眺望・景観を回復し、荒廃した里山林を再生活動の一環としての展望台付近の高木の除伐。椎茸銀行の柵の補修用の杭材として末の部分を持ち帰った。午後、子ども交流館内情報館で委任状を含め定足数を満たしていることを確認し総会を開催。

理事長より、過去一年間無事故での活動出来たこと、今後とも安全に無事故記録を伸ばして行きたいとの挨拶後、議長・議事録署名人を選出し下記の議事に入った。

第一号議案 平成26年度(26.10.1~27.9.30)事業報告

第二号議案 平成26年度活動計算書、貸借対照表、財産目録、と監査報告

第三号議案 平成27年度(27.10.1~28.9.30)事業計画

第四号議案 平成27年度活動予算

以上に対し二三の質疑を経て、いずれも報告通り拍手多数で承認、次いで、

第五号議案 役員改選

日月理事死亡、佐々木理事体調回復にもう少し時間を要することから退任に伴う後任として、理事長より奥村・萬慶両氏の推薦があり、異議なく承認され閉会。

総会后、定例理事会を開催、26日のイベントの内容等に関し協議。

12月16日(水) 自主活動 矢田山遊びの森

毎月第一日曜と第三水曜日の自主活動日に実施中の林野庁助成「森林・山村多面的機能発揮対策事業」としての竹林整備、頂上展望台及びまほろば展望台付近の人工林に侵入の竹の伐採。

この日空模様があやしかったので参加者が少なかったが、前回同様まほろば展望台西側下方での作業を実施。

12月23日(水) 忘年会 西大寺味楽座

19名が集まり、理事長の日頃の活動参加への感謝の言葉に続いて、内山長老の乾杯の発声で、宴を開始。酒食をともにしながらしばし歓談。この間、13日に行われた奈良マラソンに参加した奥氏から自己の設定した目標タイムに少し及ばなかったが完走、来年は60歳を迎え、60歳以上の部での3位以内の入賞を目指すとの心意気の表明あり。又ボランティアで給水サービスに参加された小松氏からも報告があった。楽しい時間は瞬く間に定刻を過ぎ解散。

12月26日(土) 定例活動 納会 矢田山遊びの森

本年最後の活動となるこの日、一般参加の4組の家族を交え約40名が参加。朝礼で活動予定の説明に次いで、今まで数回のお試し参加されていた若手一名の正式入会の紹介があった。

午前中は、餅つき準備のための女性と手伝いのスタッフ数名を残し、他はFV連「緑の募金」公募事業であ

る竹林整備と環境保全作業のため、国道R309沿いの人工林に入り、各家族には一人ずつメンバーが指導者としてつき、竹を伐採。切った竹の一部を午後のミニ門づくり用として持ち帰った。

昼前に料理体験館へ戻り、準備が整い、子供達や一般参加者も順にきねを振り上げ餅つき体験を掛け声と共に楽しんだ。つきあがりやきを皆でまるめ、早速あんこやきな粉をまぶして出来立てを味わった。

午後からはミニ門松づくり。持ち帰った竹の太目のものを十数センチの長さに小口切りし器をつくり、こ

れに

斜め切りした細い竹 3 本を結わえて立て、周りに予め準備しておいた松、南天、万両等を差し込み形を整え

て出来上がり。この間一部のメンバーは、炭窯周辺の整頓・掃除をまたもちつき用具の片付けを行った。

又本年初めて、交流館前に萬慶さん持込みの材料で等身大の立派な門松一基を設置。

終礼では、理事長の一年間種々の活動を皆の協力で無事終えられたことに感謝と来年も引続いての協力の要請の挨拶で締め括り、ミニ門松とおみやげのもちを手に手に帰路に着いた。